

評価委員会総合評価

研究課題名：顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究

評価委員

委員長：田中正之

委員：岩崎俊樹、木村富士男、佐藤 薫、藤吉康志、渡邊朝生

評価年月日：平成 25 年 10 月 21 日

1. 総合評価

- (1) 実施の可否 可 否
(2) 修正の必要の有無 修正の必要あり 修正の必要なし

2. 総合所見

大雨・集中豪雨や竜巻等の突風など甚大な被害をもたらす顕著現象に対する社会的関心が高まる中、監視・予測技術の高度化や次世代の気象監視・予測を担う観測システム構築に資する技術開発は、国民の安心・安全への貢献を目指す上で必要不可欠であり、十分に把握できていない顕著現象の機構解明という学術的意義がある。

本研究は、これに先行する「シビア現象の監視及び危険度診断技術の高度化に関する研究」及び「顕著現象の機構解明に関する解析的・統計的研究」の成果蓄積を活用し、数値予報モデルや客観解析手法の今後の発展とデータの将来利用を見込んだ効率性にも配慮された計画となっている。

本研究は、顕著現象の予測に対して、様々な観測、解析手段を総合して取り組むものであり、広い意味でのモニタリングシステムの構築に向け、研究成果の集約が期待される。また、見込まれる成果は、コストパフォーマンスの良い観測ネットワークの提案や数値予報モデルの高度利用にも有用なものとなり得る。

さらに、観測手法や新技術に関する研究や理想的な観測システムだけでなく、顕著現象に関する様々な断面での鉛直流の特徴といった予測精度レベルに応じた観測システムの検討や想定されるシステムの社会実装を実現するための研究など、他の学術分野を専門とする機関・研究者と協調して多面的に研究を展開することにより、より高次の有効性を持つ研究としての発展を期待する。